

Environment

環境分野分科会実施要項

開催日時 2016年5月21日(土)
会場 三重大学

東海グローバルサミット運営委員

東海グローバルサミット 分科会環境分野実施要項

日時 2016年5月21日(土) 13:00~18:00

場所 三重大学(三重県津市 栗真町屋町 1577)

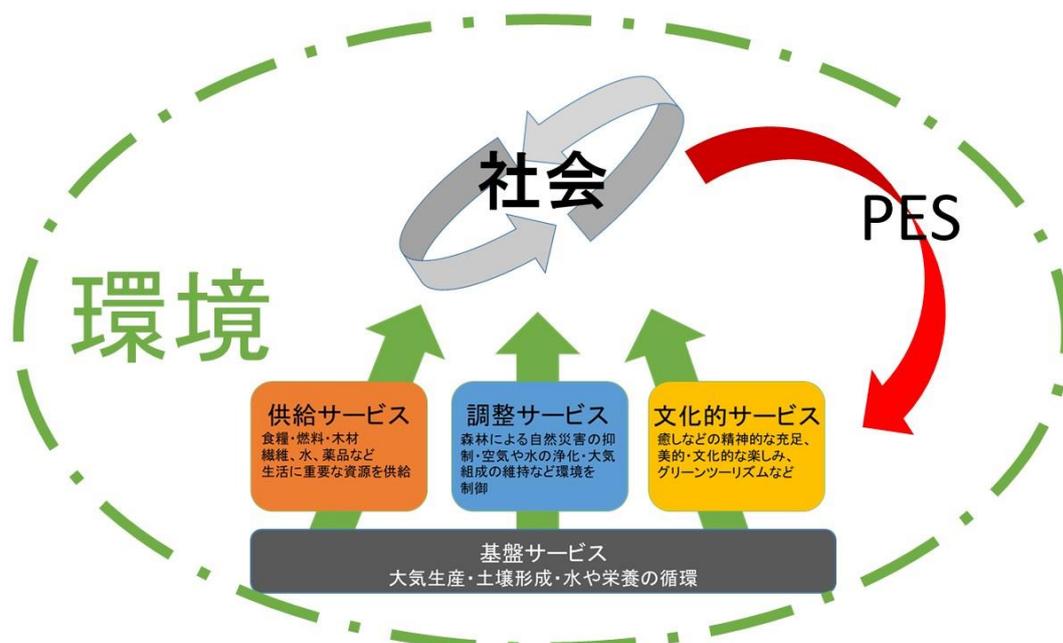
「私たちは生態系サービスをどのように利用していくのか」

現在、気候変動や生物多様性の減少など環境は地球規模で大きく変質し社会の成立を脅かしている。そこで生態系サービスの評価・利用というトピックから環境と社会のかかわり方について考えることで2050年に、我々がどのような持続可能な生態系サービスの利用システムを構築し、ライフスタイルの変革をどのように進めるか議論する。

テーマ設定

環境にかかわる様々な社会問題について、私たちは社会と環境の関係性に問題があるはずである。その中で環境と社会の関わり、本会では生態系サービスの利用という問題に対して考えることで環境問題に一般性をもった解答を得ることを期待している。

しかし生態系サービスの利用というトピックに絞っても、その形やフィールドは多岐にわたるので一般に多くの人が直接関わる生態系サービスへの支払い(Payment of Eco System)について議論を深めることを予定している。生態系サービスへの支払いについて現状の仕組みの概論を参加者と共有し、2050年の未来ではどのような方法で誰が支払いをしていくのかというシステム作りの想定を行う。加えて私たちがそのアクションにどのように関わっていくかを行動宣言として示したい。



1. タイムライン

5月21日(土)		所要時間(分)		所要時間(分)	
12:00	ランチタイムセッション (11:30~)	90	16:00	ディスカッションタイム2	45
13:00	分科会開始・挨拶	10	17:00	行動宣言作成	30
	アイスブレイク	10		個人宣言タイム	30
	講演	50			
14:00	質問タイム&感想の共有 ※挙手がない場合は運営 より指定をします	40	18:00	分科会終了	
				移動	20
				閉会式	70
				行動宣言3分程	
15:00	ディスカッション1 ※休憩は適時	45	19:00	閉会	
	意見共有	30			

2. コンテンツ説明

基本コンセプトとしては参加者の主体的な未来の行動の指針を定めることが重要と考える。よって現状問題に関しては情報共有を中心に置き、そこから 2050 年に向けての行動について議論を行うものとする。

基本は 5~6 人による小グループ (5~6 チームを予定) によってディスカッション、意見のとりまとめを行う。

各グループにファシリテーターを 1 名付け、タイムキープや意見のとりまとめを促す。ファシリテーターについては事前に運営より参加者の中から選考して、役割を伝える。

① アイスブレイク

名前、出身などの自己紹介を兼ねて、グループごとに交流を行う。
ゲーム形式などを予定している。

② 講演

ゲストに講演を行ってもらう。

③ 質問タイム&感想の共有

講演者への質疑応答の時間。挙手がない場合は運営より、指定して質疑応答を行う。一人ひとりの質問か感想、意見の募集を基本とする。

④ ディスカッションタイム 1

はじめに事前資料を踏まえて 2050 年の社会の理想を共有してもらおう。そして次にその理想を達成するために必要なガバナンス、企業、教育などについて段階を追って具体化してもらおう。この段階で議論をまとめる必要はない。

⑤ 共有時間

ディスカッションタイム 1 での議論を全体へ共有してもらおう。各グループ議論の要旨を 2~3 分程でまとめてもらい、質疑応答も併せて行う。

⑥ ディスカッションタイム 2

ディスカッションタイム 1 の議論を「2050 年までに〇〇な社会(制度、システムなど言葉を使い換えても良い)を実現する」という形にまとめてもらおう。次に自分たちがその理想の実現にどのように寄与できるかを可能な限り具体的に考えてもらおう。そして最後にその行動を若者全般の行動指針へ一般化してもらおう。

⑦ 行動宣言作成

グループで出された行動指針の共通項を導き出して 1 つにまとめる。閉会式での発表者と発表内容を決定する。発表者に関しては推薦（自推含む）で募集し、いなければ運営が指定する。

⑧ 個人宣言タイム

行動宣言に取り入れられなかった意見や個人の行動宣言を全体に向けて自由に発表する時間にする。そのほか自己 PR などもおこなってよい。時間に余裕があれば交流タイムを終盤に設ける。

3. 配布資料

- ◇ 事前学習資料（4 月 23 日配布予定）
- ◇ 問題意識共有シート（4 月 23 日配布予定）
- ◇ 講演者資料（講演者が決定次第配布）

4. 運営委員（分科会内）

代表：山内 康史（お問い合わせ 090-1725-3714）

チーフ：三重大学生物資源学部共生環境学科 2 年吉井達樹

三重大学生物資源学部共生環境学科 2 年瀧本陸

三重大学生物資源学部資源循環学科 2 年山本華嘉